

(目的)

第1条 この規程は、公立鳥取環境大学学則第28条の規定に基づき、公立鳥取環境大学の副専攻の履修に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(履修)

第2条 副専攻の履修は、公立鳥取環境大学履修規則を準用する。

(副専攻の分野及び履修条件)

第3条 副専攻は以下に掲げる5分野とし、その単位数、配当年次及び修了要件は、別表第1号のとおりとする。

- (1) 環境学副専攻
- (2) 経営学副専攻
- (3) AI・数理・データサイエンス副専攻
- (4) 英語実践副専攻
- (5) 地域実践(麒麟)副専攻

2 前項に定める副専攻のうち、環境学部の学生は前項第1号を、経営学部の学生は前項第2号を履修することができない。

(副専攻の履修登録)

第4条 副専攻の履修登録を希望する学生は、2年次前期以降の履修登録期間に、副専攻履修届(様式第1号)により副専攻の履修登録申請をしなければならない。

- 2 副専攻の履修登録にはGPAが2.0以上でなければならない。
- 3 副専攻の履修登録希望者の数が多い場合、あるいはその他各科目において定められた履修条件により、副専攻の履修登録を認めないことがある。
- 4 公立鳥取環境大学の進級に関する規程に基づき進級が不可となり、副専攻を解除された学生は、進級するまで副専攻の履修登録申請をすることができない。

(副専攻の履修登録の解除)

第5条 学生は、半期ごとに行われる履修登録期間内に副専攻履修辞退届(様式第2号)を提出することにより、副専攻の履修登録を解除することができる。

- 2 副学長(教育担当)は、以下の各号にいずれかに該当する学生の副専攻の履修登録を解除する。
 - (1) 公立鳥取環境大学の進級に関する規程に基づき、進級が不可になった学生
 - (2) 各学期末(卒業判定時以外)の成績を基に行われる適格認定において、GPAが2.0未満となった学生
 - (3) 前各号に定めるほか、副専攻の履修条件を満たさなくなった学生
- 3 副学長(教育担当)は、前項により副専攻の履修を解除した場合、副専攻の履修を解除した学生に副専攻履修解除通知書(様式第3号)により通知する。

(副専攻履修証明書)

第6条 学長は、副専攻を履修する学生からの申請に基づき、当該学生が以下の各号に定める履修証明書発行要件を全て満たしている場合は、履修証明書(様式第4号)を交付する。

- (1) 3年次以上であること。
- (2) 別表第1号に定める副専攻修了要件に対して、半数以上の単位を修得している又は履修中であること。

(副専攻の修了)

第7条 副専攻の修了は、別表第1号に定める修了要件を満たした学生とする。

(副専攻修了の認定)

第8条 副専攻修了の認定は、教務委員会及び教授会の議を経て、学長が認定する。

(認定書の授与)

第9条 学長は、副専攻修了の認定を受けた学生に副専攻修了認定書(様式第5号)を授与する。

(委任)

第10条 この規程に定めるもののほか、副専攻に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この規程は、令和3年4月1日より施行する。

別表第1 (第3条関係)

環境学副専攻カリキュラム

科目区分	授業科目の名称	単位数			配当年次			
		必修 (*)	選択	自由	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
学部 専攻 科目等	学部 共通 科目	自然環境保全概論	2			○		
		循環型社会形成概論	2			○		
		人間環境概論	2			○		
		人間居住論		2			○	
		環境と倫理		2			○	
		環境と文明		2		○		
		環境情報学概論		2			○	
		環境法概論		2			○	
		環境行政論		2			○	
		環境政策論		2			○	
	環境アセスメント概論		2				○	
	自然環境 保全系 科目	保全生物学		2				○
		生態学基礎		2			○	
		海洋環境学		2			○	
		気象学概論		2			○	
		森林科学概論		2			○	
		基礎土壌学		2				○
	循環型 社会 形成 系 科目	環境とエネルギー		2			○	
		大気汚染防止		2				○
		廃棄物学入門		2		○		
		廃棄物処理技術		2				○
		水環境工学1		2			○	
		応用微生物学概論		2			○	
	人間 環境 系 科目	景観計画と保全管理		2				○
		都市の持続的発展		2				○
		ジオパークと地域づくり		2				○
		地域生活文化論		2				○
		エコハウス計画		2				○
		途上国の都市発展		2				○
		木質構造計画		2				○
修了要件 1. (*) 選択必修科目の「自然環境保全概論」「循環型社会形成概論」「人間環境概論」の内から2単位以上修得すること。 2. 選択必修科目及び選択科目から22単位以上修得すること。								

経営学副専攻カリキュラム

科目区分	授業科目の名称	単位数			配当年次				
		必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次	
人間形成科目／学部専門科目等	学部基礎科目	経営学入門	2			○			
		会計学入門		2		○			
		現代経済学入門		2		○			
		統計学入門		2		○			
		経営戦略論 1		2		○			
		経営組織論 1		2			○		
		マーケティング 1		2			○		
		商業簿記 1	2			○			
		商業簿記 2		2			○		
		財務会計		2			○		
		管理会計		2			○		
		ファイナンス入門		2			○		
		ミクロ経済学		2		○			
		マクロ経済学		2			○		
金融論		2			○				
修了要件 1. 必修科目 4 単位以上を含め 24 単位以上修得すること。									

A I ・数理・データサイエンス副専攻カリキュラム

科目区分	授業科目の名称	単位数			配当年次				
		必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次	
人間形成科目／学部専門科目等	基礎科目	微分積分学	2			○			
		数理基礎		2		○			
		統計学入門	2			○			
		線形代数学	2			○			
		離散数学		2			○		
		データサイエンス	2				○		
		プログラミング	2			○			
		データ構造とアルゴリズム	2				○		
		A I	2					○	
		インターネット		2			○		
	計算機の基礎		2			○			
	展開科目	データサイエンス実践演習		2			○		
		A I 実践演習		2				○	
		画像処理		2				○	
パターン認識			2				○		

	経営情報論		2			○		
	環境情報学概論		2			○		
	地球観測学		2				○	
	データベース		2				○	
	環境データベース論		2				○	
	情報倫理	2					○	
	AMD実践演習A		1			○		
	AMD実践演習B		1			○		
修了要件 1. 基礎科目より必修科目14単位以上を含め、16単位以上修得すること。 2. 展開科目より8単位以上修得すること。								

英語実践副専攻カリキュラム

科目区分	授業科目の名称	単位数			配当年次			
		必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次
人間形成科目／学部専門科目等	英語応用科目	Advanced English 1		2			○	
		Advanced English 2		2			○	
		Advanced English 3		2			○	
		Advanced English 4		2			○	
	英語発展科目	Advanced English 5		2			○	
		Advanced English 6		2			○	
		Advanced English 7		2			○	
		Advanced English 8		2			○	
	英語実践科目	英語特別講義A		2				○
		英語特別講義B		2				○
		英語特別講義C		2				○
		英語特別講義D		2				○
		英語活動A		2		○		
		英語活動B		2		○		
		海外英語研修A		1		○		
		海外英語研修B		2		○		
		海外英語研修C		3		○		
		海外語学実習A		1		○		
		海外語学実習B		1		○		
	Case Analysis		2			○		
学習支援科目	基礎英語能力養成A			2	○			
	基礎英語能力養成B			2	○			
	応用英語能力養成A			2	○			
	応用英語能力養成B			2	○			
Basicコース修了要件 1. 英語応用科目より8単位以上修得すること。								

2. 英語実践科目より8単位以上修得すること。
3. CEF R B1レベルの資格を取得していること。

Advancedコース修了要件

1. 英語発展科目より8単位以上修得すること。
2. 英語実践科目より8単位以上修得すること。
3. CEF R B2レベルの資格を取得していること。

地域実践（麒麟）副専攻カリキュラム

科目区分	授業科目の名称	単位数			配当年次				
		必修	選択	自由	1年次	2年次	3年次	4年次	
人間形成科目／学部専門科目等	麒麟基礎科目	鳥取学	2			○			
		麒麟プロジェクト研究	2			○			
		麒麟の知	2					○	
	演習科目	基礎インターンシップ		1		○			
		特別演習A		1		○			
		特別演習B		1		○			
		特別演習C		1		○			
		鳥取グリーンベンチャー		1			○		
		ワークショップ		2					○
	地域志向科目（環境学部科目）	環境データベース論		2					○
		漁業資源保全学		2					○
		保全生物学		2					○
		生態学概論		2			○		
		森林政策論		2					○
		3R工学		2			○		
		バイオマス変換論		2					○
		地域エネルギーシステム論		2					○
		都市の自然環境形成		2					○
		農村の持続的発展		2					○
		自然環境と文化		2			○		
		歴史遺産保全論		2					○
		都市居住計画		2			○		
	地域志向科目（経営学部科目）	地域経営論		2			○		
		地域経済論		2			○		
		地域政策論		2					○
		地域産業論		2					○
		公共政策論		2					○
		公共経営論		2			○		
		中小企業経営論		2					○
		地域マーケティング		2					○
流通論		2			○				

	非営利組織論		2				○	
	コミュニティビジネス論		2				○	
	観光経営論		2				○	
	地域振興論		2				○	
	農業経営論		2				○	
	社会調査法		2			○		
	経営学特別講義B		2				○	

修了要件

1. 必修科目 6 単位修得すること。
2. 演習科目より 4 単位以上修得すること
3. 環境学部の学生は、地域志向科目（経営学部科目）より 6 単位以上修得すること。
4. 経営学部の学生は、地域志向科目（環境学部科目）より 6 単位以上修得すること。

様式第1号（第4条関係）

副 専 攻 履 修 届

年 月 日

公立鳥取環境大学
学長 様

所属学部：
所属学科：
学籍番号：
氏 名：

副専攻を履修したいので、下記のとおり申請いたします。

記

○履修を希望する副専攻（希望する副専攻の登録希望欄に○をする）

副専攻の種類	登録希望
環境学副専攻	
経営学副専攻	
A I ・ 数 理 ・ デ ー タ サ イ エ ン ス 副 専 攻	
英語実践副専攻	
地域実践（麒麟）副専攻	

○申請時点のG P A （ ）ポイント

様式第2号（第5条関係）

副 専 攻 履 修 辞 退 届

年 月 日

公立鳥取環境大学
学長

様

所属学部：

所属学科：

学籍番号：

氏 名：

副専攻の履修を辞退したいので、下記のとおり申請いたします。

記

○辞退する副専攻（辞退する副専攻の種類の種類に○をする）

副専攻の種類	辞退希望
環境学副専攻	
経営学副専攻	
A I ・ 数 理 ・ デ ー タ サ イ エ ン ス 副 専 攻	
英語実践副専攻	
地域実践（麒麟）副専攻	

○辞退する理由

様式第3号（第5条関係）

副 専 攻 履 修 解 除 通 知 書

年 月 日

所属学部：

所属学科：

学籍番号：

氏 名：

公立鳥取環境大学 副学長

公立鳥取環境大学副専攻規程第5条の規定に基づき、下記のとおり副専攻の履修を解除しましたので通知します。

記

○解除する副専攻

○解除事由

- 進級が不可となったため（第5条第2項第1号）
- GPAが2.0未満となったため（第5条第2項第2号）
- 副専攻の履修条件を満たさなくなったため（第5条第2項第3号）

様式第4号（第6条関係）

副 専 攻 履 修 証 明 書

所属学部：

所属学科：

学籍番号：

氏 名：

上記の者は、「〇〇〇〇〇副専攻」を現在履修中であることを証明する。

年 月 日

公立鳥取環境大学 学長

様式第5号（第9条関係）

副 専 攻 修 了 認 定 書

所属学部：

所属学科：

学籍番号：

氏 名：

上記の者は、「〇〇〇〇〇副専攻」を修了し、その学習成果を認定したので、認定書を授与する。

年 月 日

公立鳥取環境大学 学長

※ 英語実践副専攻の修了証にはコース名を付記する。